

年会長講演

5月16日(木) 9:15~9:30 第1会場

座長：竹内 洋文 (岐阜薬科大学)

薬剤・製剤における温故知新

細谷 健一

(富山大学 大学院医学薬学研究部 薬剤学研究室)

会長講演

5月17日(金) 13:50~14:05 第1会場

座長：森部 久仁一 (千葉大学)

新しい薬学における(公社)日本薬剤学会の役割

竹内 洋文

(日本薬剤学会会長/岐阜薬科大学)

招待講演

5月16日(木) 13:45~14:45 第1会場

座長：登美 斉俊 (慶應義塾大学)

Novel Therapeutic Targets to Repair Blood-Brain Barrier Dysfunction in Epilepsy

Björn Bauer

(University of Kentucky, Lexington, Kentucky, USA)

特別講演 1

5月17日(金) 11:15~12:15 第1会場

座長：原島 秀吉 (北海道大学)

ナノバイオデバイスとAIが拓く未来医療

馬場 嘉信

(名古屋大学 大学院工学研究科・医学系研究科・ナノライフシステム研究所)

特別講演 2

5月17日(金) 15:15~16:15 第1会場

座長：玉井 郁巳 (金沢大学)

定量的proteotypingに基づく薬剤学の新天地

寺崎 哲也

(東北大学 大学院薬学研究科)

受賞講演(日本薬剤学会賞)

5月17日(金) 14:45~15:15 第1会場

座長：橋田 充 (京都大学)

遺伝子・核酸医薬品のデリバリーシステム開発

高倉 喜信

(京都大学 大学院薬学研究科)

受賞講演(日本薬剤学会奨励賞)

5月18日(土) 9:15~9:35 第1会場

座長：登美 斉俊 (慶應義塾大学)

妊婦および胎児への薬物治療を目指した胎盤機能解明と薬剤探索

西村 友宏

(慶應義塾大学 薬学部 薬剤学講座)

受賞講演(日本薬剤学会奨励賞)

5月18日(土) 9:35~9:55 第1会場

座長：岡田 弘晃 ((株)岡田DDS研究所)

機能性ペプチドを基盤とする非侵襲的な核酸医薬DDSの開発

金沢 貴憲

(日本大学 薬学部)

受賞講演(旭化成創剤開発技術賞)

5月18日(土) 10:00~10:20 第1会場

座長：武田 真莉子 (神戸学院大学)

OD錠用高機能フィルム技術およびレミッチ[®] OD錠の開発

太田 琴恵、堀内 保秀、○高木 卓

(東レ株式会社 生産本部 医薬CMC技術部)

受賞講演(旭化成創薬研究奨励賞)

5月18日(土) 10:20~10:40 第1会場

座長：戸塚 裕一 (大阪薬科大学)

数値シミュレーションを利用した吸入粉末製剤の設計と服薬支援に関する研究

門田 和紀

(大阪薬科大学 薬学部 製剤設計学研究室)

受賞講演(旭化成創薬研究奨励賞)

5月18日(土) 10:40~11:00 第1会場

座長：佐々木 均 (長崎大学病院)

生体適合性素材の自己組織化による標的化DDS製剤の開発

兒玉 幸修

(長崎大学病院 薬剤部)

受賞講演(永井記念国際女性科学者賞)

5月18日(土) 11:10~11:40 第1会場

座長：小川 法子 (愛知学院大学)

Surface structure modification of chitosan based nanocarriers on their interaction with mucosal barriers

Shirui MAO

(Shenyang Pharmaceutical University)

特別企画シンポジウム 1「日本薬剤学会・日本薬学会合同シンポジウム「脂質・細胞製剤の新展開」

後援：公益社団法人日本薬学会

5月16日(木) 9:30～11:30 第1会場

オーガナイザー：川上 茂 (長崎大学)
石田 竜弘 (徳島大学)

細胞由来製剤エキソソームの体内動態解析とドラッグデリバリーへの展開

高倉 喜信
(京都大学 大学院薬学研究科)

リポタンパク質点眼剤の可能性

村上 達也^{1,2}
(¹富山県立大学、²京都大学)

細胞治療のためのヒトiPS細胞由来肝細胞の作製 —創薬応用から再生医療への展開—

水口 裕之^{1,2,3}
(¹大阪大学 大学院薬学研究科、²大阪大学 国際医工情報センター、
³国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所)

多機能性エンベロープ型ナノ構造体の開発とナノ医療への展開： 個別化ナノ医療の実装

原島 秀吉^{1,2}
(¹北海道大学 大学院薬学研究院 薬剤分子設計学研究室、
²北海道大学 大学院薬学研究院 未来創剤学研究室)

特別企画シンポジウム 2「くすりの富山 製薬企業における製剤研究」

後援：「くすりのシリコンバレー TOYAMA」創造コンソーシアム

5月17日(金) 16:30～18:30 第2会場

オーガナイザー：永井 秀昌 (富山県薬事総合研究開発センター)
藤 秀人 (富山大学)

「くすりのシリコンバレー TOYAMA」創造コンソーシアムについて

初田 正樹
(富山県厚生部 くすり政策課)

OD錠の製剤技術「howatt」のミニタブレットへの適用

○山田 篤志、折橋 正浩、川岸 貴博、藤下 繁人
(テイカ製薬株式会社)

内服液剤のアドヒアランスの向上

矢田 貴和子
(株式会社廣貫堂)

東亜薬品における製剤研究の歩み～過去、現在そして未来

守田 禎一
(東亜薬品株式会社 研究開発本部)

皮膚機能を利用した経皮吸収製剤の開発

松澤 孝泰
(リードケミカル株式会社 医薬研究部)

皮膚適用製剤の研究開発

堀田 大介

(株式会社池田模範堂 スキンリサーチセンター)

ピタスのどトローチの製剤コンセプトとその製剤特性

藤井 裕也

(救急薬品工業株式会社)

応答曲面法を用いた口腔内崩壊錠の製剤設計

熊田 俊吾

(日医工株式会社 開発・企画本部 製剤開発部)

学術シンポジウム 1「エビデンスに基づく薬物療法の個別化と適正化：薬剤師に何ができるか」

5月16日(木) 9:30～11:30 第2会場

オーガナイザー：嶋田 努 (金沢大学附属病院)
森田 真也 (滋賀医科大学医学部附属病院)

薬学的視点に基づいたプレシジョン・メディシン～現状と展望～

○寺田 智祐¹、平 大樹²

(¹滋賀医科大学医学部附属病院 薬剤部、²立命館大学 薬学部 医療薬学研究室)

構成生薬から考える漢方薬の個別化医療と適正使用の推進 ～明日からの業務に役立つ漢方薬の考え方～

加藤 敦

(富山大学附属病院 薬剤部)

経口がん分子標的薬の個別投与設計に向けた取り組み

○山口 浩明¹、高崎 新也¹、菊地 正史¹、川崎 芳英²、伊藤 明宏²、
眞野 成康¹

(¹東北大学病院 薬剤部、²東北大学病院 泌尿器科)

病態背景を考慮した個別化薬物療法に向け 一肥満病態を中心に

○嶋田 努、崔 吉道

(金沢大学附属病院)

学術シンポジウム 2「経肺経鼻投与型製剤の設計と体内動態の評価」

5月16日(木) 16:00～18:00 第1会場

オーガナイザー：岡本 浩一 (名城大学薬学部)
尾関 哲也 (名古屋市立大学)

経鼻投与による薬物・バイオ医薬の脳内デリバリー動態と中枢疾患治療への応用

○金沢 貴憲、鈴木 直人、鈴木 豊史

(日本大学 薬学部)

膜透過ペプチド固定化高分子を用いたバイオ医薬品の経鼻吸収促進技術の開発

○伴野 拓巳、佐久間 信至

(摂南大学 薬学部 薬物送達学研究室)

肺内でナノ粒子を構成するドラッグデリバリーシステム型吸入粉末剤の開発 とその評価

奥田 知将

(名城大学 薬学部)

印刷工学技術の発展的応用による吸入用微粒子設計と生物薬剤学的特性評価

○佐藤 秀行¹、森谷 樹²、森永 匡彦²、佐藤 祐一²、小番 昭宏²、
尾上 誠良¹

(¹静岡県立大学 薬学部 薬剤学分野、

²株式会社リコー 研究開発本部 APT 研究所 材料技術開発センター)

学術シンポジウム 3「脳標的デリバリーの萌芽的技術」

5月16日(木) 16:00~18:00 第2会場

オーガナイザー：楠原 洋之 (東京大学大学院薬学研究科)
出口 芳春 (帝京大学薬学部)

高分子の脳デリバリーに資する脳関門透過ペプチドの開発

○大槻 純男、山口 駿介、増田 豪、伊藤 慎悟
(熊本大学 大学院生命科学研究部 微生物薬学分野)

血液脳関門を効率的に「越える」ナノマシンの開発

安楽 泰孝^{1,2}
(¹東京大学 大学院工学系研究科、²ナノ医療イノベーションセンター)

DNA/RNAヘテロ2本鎖核酸 (DNA/RNA heteroduplex oligonucleotide;HDO) の創生

横田 隆徳
(東京医科歯科大学 大学院脳神経病態学分野 神経内科)

脳移行性評価技術としてのヒトiPS由来脳毛細血管内皮細胞の有用性と限界

○出口 芳春¹、黒澤 俊樹¹、手賀 悠真¹、樋口 慧¹、山口 朋子²、
中倉 敬⁴、望月 達貴³、楠原 洋之³、川端 健二²
(¹帝京大学 薬学部、²医薬基盤・健康・栄養研究所、³東京大学 薬学研究科、⁴帝京大学 医学部)

学術シンポジウム 4「医薬品と医療機器のコンビネーション(DDC)技術及び薬剤投与デバイスの進歩」

5月17日(金) 9:15~11:15 第1会場

オーガナイザー：杉林 堅次 (城西大学)
森部 久仁一 (千葉大学)

世界初のデジタルメディスン エビリファイマイサイトについて

倉橋 伸幸
(Otsuka Pharmaceutical D&C)

IoTと家庭血圧モニタリング

山下 新吾
(オムロンヘルスケア株式会社)

新しい経皮投与技術「Nitro PassPort™ System」

花谷 昭徳
(Nitro Denko Technical Corporation)

治療の最適化に貢献する吸入デバイスの進歩

平 大樹^{1,2}
(¹立命館大学 薬学部、²滋賀医科大学 医学部附属病院 薬剤部)

学術シンポジウム 5「ポストICH M9における薬剤学BE研究」

5月17日(金) 16:30~18:30 第1会場

オーガナイザー：佐久間 信至 (摂南大学)
立木 秀尚 (東和薬品(株))

ICH M9 : Biopharmaceutics Classification System (BCS) に基づく バイオウエーバー

～新たに導入が検討されている生物学的同等性試験免除の考え方～

栗林 秀明

(医薬品医療機器総合機構 新薬審査第二部)

BCSに基づくバイオウエーバーに関する科学的考察

菅野 清彦

(立命館大学 薬学部)

新薬開発におけるBE予測研究

上林 敦

(アステラス製薬株式会社 製剤研究所)

ポストICH M9時代のジェネリック医薬品開発とは？

立木 秀尚

(東和薬品株式会社 事業開発部)

学術シンポジウム 6「小児用製剤の開発促進：現状と課題解決に向けた取り組み」

5月18日(土) 13:15~15:15 第1会場

オーガナイザー：大貫 義則 (富山大学)
原田 努 (昭和大学)

小児製剤に関する国際的課題および小児が服用しやすい製剤について

原田 努

(昭和大学 薬学部 基礎医療薬学講座 薬剤学部門)

小児医療現場における内服薬の現状と課題

楠木 重範

(チャイルド・ケモ・クリニック)

小児製剤の設計における留意点と製剤技術

高江 誓詞

(アステラス製薬株式会社 製剤研究所 処方設計研究室)

小児製剤における経口ゼリー剤の製剤設計

林 祥弘

(日医工株式会社)

小児製剤開発における生物薬剤学的な課題と取り組み：

Pediatric biopharmaceutics classification system (PBCS)

○山下 伸二、三田村 しのぶ、首藤 誠

(摂南大学 薬学部)

ラウンドテーブルセッション 1「脳内薬物デリバリーの現状、課題、将来展望について考える」

5月16日(木) 9:30~11:30 第3会場

オーガナイザー：近藤 啓 (静岡県立大学薬学部)
大河原 賢一 (神戸薬科大学)

脳への薬物送達における課題と解決法

寺崎 哲也

(東北大学 大学院薬学研究科 薬物送達学分野)

バブル-超音波による脳内薬物デリバリー

丸山 一雄

(帝京大学 薬学部 薬物送達学研究室)

中枢領域における新規創薬開発と脳内送達技術の現状

三原 拓真

(アステラス製薬株式会社)

ラウンドテーブルセッション 2「QbDに基づいた医薬品開発・製造・ライフサイクルマネジメントにどう対応するか」

5月16日(木) 16:00~18:00 第3会場

オーガナイザー：宮嶋 勝春 (ナノキャリア (株))
高山 幸三 (城西大学薬学部)

QbDアプローチへの規制当局の期待

松田 嘉弘

(独立行政法人医薬品医療機器総合機構)

医薬品ライフサイクルマネジメントを踏まえた実践的な取り組み

○則岡 正、近藤 仙巳、山下 計成

(アステラス製薬株式会社 製剤研究所)

小さすぎて出来ない！ Do the small and medium-sized enterprises need to follow the ICH guidelines?

古田土 真一

(医薬品品質科学アドバイザー)

ラウンドテーブルセッション3「経口吸収研究を加速させるモデリング&シミュレーション」

5月17日(金) 9:15~11:15 第2会場

オーガナイザー：尾上 誠良 (静岡県立大学薬学部)
上林 敦 (アステラス製薬(株))

医薬品開発における経口吸収モデリング&シミュレーションの活用

○清田 豪志、上林 敦
(アステラス製薬株式会社 製剤研究所)

薬物の経口吸収評価を目的にしたin vitro細胞透過性試験の新規モデル解析

尾関 和久
(中外製薬株式会社)

臨床投与量およびヒト薬物動態予測へのModeling & Simulationの活用

遠山 季美夫
(武田薬品工業株式会社 薬物動態研究所)

ラウンドテーブルセッション4「Special populationの薬物動態・薬効・副作用予測に求められる情報・技術とは？」

5月17日(金) 16:30~18:30 第3会場

オーガナイザー：内田 信也 (静岡県立大学薬学部)
前田 和哉 (東京大学薬学部)

医療現場で必要とされるSpecial populationの情報

大野 能之
(東京大学医学部附属病院 薬剤部)

日常診療情報に基づいた母集団解析によるSpecial populationの薬物動態・薬効予測

○廣田 豪、村木 翔太、家入 一郎
(九州大学 大学院薬学研究院 薬物動態学分野)

生理学的薬物動態モデリングを用いたSpecial populationにおける薬物動態の予測に関する展望：製薬企業の研究者の立場から

峯松 剛
(アステラス製薬株式会社 薬物動態研究所)

ラウンドテーブルセッション 5「次世代を担う核酸医薬DDS技術の新領域」

5月18日(土) 13:15~15:15 第2会場

オーガナイザー：金沢 貴憲 (日本大学)
山田 勇磨 (北海道大学)

中枢疾患を標的とする非侵襲的核酸医薬DDS技術

金沢 貴憲
(日本大学 薬学部)

眼・肺疾患を標的とする非侵襲的核酸医薬DDS技術

○田原 耕平、竹内 洋文
(岐阜薬科大学 製剤学研究室)

がん免疫療法のための核酸医薬DDS 技術

中村 孝司
(北海道大学 大学院薬学研究院)

ラウンドテーブルセッション 6「光老化を防ぐ製剤とその使用法～サンスクリーン剤の知識と処方設計～」

後援：日本化粧品学会

5月18日(土) 13:15~15:15 第3会場

オーガナイザー：徳留 嘉寛 (城西大学薬学部)
正木 仁 (東京工科大学)

紫外線吸収剤を肌に入れない製剤技術

本間 悠太
(株式会社成和化成)

サンスクリーン製剤のバリエーションと耐こすれ性に優れた製剤化技術

福井 崇
(花王株式会社)

サンスクリーン剤の知識と実使用での課題

藤原 留美子^{1,2}
(¹日本化粧品工業連合会 技術委員会 紫外線専門部会、
²株式会社資生堂 グローバルイノベーションセンター)

薬学教育シンポジウム「今一度、4年制・6年制を考える」

5月18日(土) 9:15～11:15 第2会場

オーガナイザー：檜垣 和孝 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科)
丁野 純男 (北海道科学大学薬学部)

地方国立大学の現状：岡山大学薬学部を例として

檜垣 和孝
(岡山大学 大学院医歯薬学総合研究科)

六年制薬学教育・薬剤師教育の抱える課題 ～薬学・薬剤師は生き残れるか？～

政田 幹夫
(大阪薬科大学)

京都大学薬学部・薬学研究科の改革と人材育成の目標：

『今日までそして明日から』

中山 和久
(京都大学 大学院薬学研究科)

大阪大学薬学部における新全6年制への挑戦

堤 康央
(大阪大学 薬学研究科・薬学部)

医薬品包装シンポジウム「医薬品包装機械の変遷と今後の展望」

5月18日(土) 9:15～11:45 第3会場

オーガナイザー：安東 幸弘 (第一三共(株))

座長：落合 誠 (ダイト(株))

近年の製薬業界の動向に対応するPTP包装機の変遷と将来展望

干場 良和

(株式会社イワクロ 営業部)

座長：田村 巧己 (塩野義製薬(株))

医薬品包装の変遷

高松 一志

(朝日印刷株式会社 製品企画部 コンスト課)

座長：天野 靖 (千代田テクノエース(株))

検査機デバイスの変遷

葛生 仁

(株式会社マイクロ・テクニカ)

5月17日(金) 9:15~11:15 第3会場

実行委員長：辻村 真里 (東京理科大学)

血液-脳関門透過性ならびに非透過性物質のNose-to-Brain動態特性の解析

○福田 光良¹、金沢 貴憲²、鈴木 直人²、鈴木 豊史^{1,2}

(¹日本大学大学院 薬学研究科、²日本大学 薬学部)

微弱電流処理による機能性高分子の皮内デリバリー

○大島 康史¹、福田 達也²、小暮 健太郎²

(¹徳島大学 薬学部、²徳島大学 大学院医歯薬学研究部)

**Flash nanoprecipitation 法を基盤とした革新的ナノ DDS 製剤の開発
~薬物封入ナノ粒子の表面物性改変による経粘膜吸収制御~**

○山田 幸平¹、Wei Wu²、Hak-Kim Chan³、Robert K. Prud'homme⁴、尾上 誠良¹

(¹静岡県立大学 大学院 薬剤学分野、

²Key Laboratory of Smart Drug Delivery of MOE & PLA, Fudan University, China、

³Advanced Drug Delivery Group, The University of Sydney, Australia、

⁴Department of Chemical & Biological Engineering, Princeton University, USA)

においては薬になりますか？

伊藤 美千穂

(京都大学 大学院薬学研究科)

ランチョンセミナー 1-2

共催：ブルカージャパン(株)

5月16日(木) 12:30~13:30 第2会場

X線回折と3D X線顕微鏡を用いた医薬品材料分析の最前線
～最新の結晶多形判別および錠剤の非破壊内部構造解析～

○山田 尚、阿部 正輝
(ブルカージャパン株式会社 X線事業部)

ランチョンセミナー 1-3

共催：日本インテグリス(同)

5月16日(木) 12:30~13:30 第3会場

座長：佐々木 健吉 (日本インテグリス合同会社)

Noble Process Nanotechnology and Characterization Solutions for
Enhanced Drug Delivery

○Yang Su¹、佐々木 健吉²
(¹Microfluidics International Corporation、²日本インテグリス合同会社)

ランチョンセミナー 1-4

共催：(株)パウレック

5月16日(木) 12:30~13:30 第4会場

医薬品連続生産技術の最新動向について

○長門 琢也¹、○山本 実²
(¹株式会社パウレック 技術本部研究開発部、²株式会社パウレック 営業本部)

ランチョンセミナー 1-5

共催：アジレント・テクノロジー(株)

5月16日(木) 12:30~13:30 第5会場

革新的な分光光度計による錠剤の評価方法のご紹介
～LDIRケミカルイメージングによる錠剤含有成分の分布、結晶多形等の評価
と透過型ラマン分光光度計による定量評価

○西村 新¹、○中村 嘉告也²、Author C²
(¹アジレント・テクノロジー株式会社、²ジャパンマシナリー株式会社)

ランチョンセミナー 1-6

共催：興和(株)

5月16日(木) 12:30~13:30 第6会場

座長：浅沼 章宗 (興和株式会社 興和先端科学研究所)

衣料から医療まで、カイコからミノムシまで、シルク利用の新展開

亀田 恒徳
(農研機構)

ランチョンセミナー 2-2

共催：(公社)日本脳卒中協会、第一三共(株)

5月17日(金) 12:30~13:30 第2会場

座長：並木 徳之 (興静岡県立大学大学院薬学研究院・薬学部実践薬学分野)

抗凝固薬の服薬アドヒアランスの重要性
循環器・不整脈専門医(一次予防)の立場から

山下 武志
(公益財団法人心臓血管研究所)

心原性脳塞栓症の再発予防 —治療の継続とアドヒアランス—

橋本 洋一郎
(熊本市立熊本市民病院 神経内科)

ランチョンセミナー 2-3

共催：ロンザジャパン(株)

5月17日(金) 12:30~13:30 第3会場

座長：堤 恵子 (ロンザジャパン株式会社 受託製造開発事業部)

バイオアベイラビリティ向上のための製剤技術の選定手法

○中野 真人¹、David Lyon²
(¹カプスゲル・ジャパン株式会社、²Lonza Pharma & Biotech, Bent)

ランチョンセミナー 2-4

共催：レニシヨー(株)

5月17日(金) 12:30~13:30 第4会場

座長：廣瀬 功治 (レニシヨー株式会社)

共焦点ラマンイメージングを用いたバイオ・製剤サンプルへの応用

○伊藤 佑、廣瀬 功治、渡部 直樹
(レニシヨー株式会社 ラマンシステムグループ)

ランチョンセミナー 2-5

共催：(株)堀場製作所

5月17日(金) 12:30~13:30 第5会場

分光技術の製剤研究/プロセスへの応用~ラマン分光法を中心に~

森村 皓之
(株式会社堀場製作所 開発本部 先行開発センター)

ランチョンセミナー 2-6

共催：ジャパンマシナリー(株)

5月17日(金) 12:30~13:30 第6会場

経口吸収を予測するための方法と試験機の開発

爪 康浩
(MSD製薬)

ランチョンセミナー 3-2

共催：フロイント産業(株)

5月18日(土) 12:00~13:00 第2会場

2015年以降の中国製薬業界の規制改革と外国サプライヤーへの影響

Felix Chan

(上海昌為医薬輔料技術有限公司 グローバルビジネス)

データインテグリティに対応する製造装置への取組み

林 輝彦

(フロイント産業株式会社 機械本部)

ランチョンセミナー 3-4

共催：日光ケミカルズ(株)

5月18日(土) 12:00~13:00 第4会場

リン脂質の製剤への応用 —外用剤を中心として—

藤井 まき子

(日本大学 薬学部)

ランチョンセミナー 3-5

共催：(一社)富山県薬業連合会

5月18日(土) 12:00~13:00 第5会場

座長：酒井 秀紀 (富山大学 大学院医学薬学研究部 薬物生理学研究室)

「くすりの富山」これまでの歩みと今後の展開について

○青柳 ゆみ子¹、○井上 仁子²、○才木 良則³、○赤根 賢治⁴、
○高田 吉弘⁵、○酒井 秀紀⁶

(¹富山県、²株式会社広貫堂、³東亜薬品株式会社、⁴日医工株式会社、
⁵一般社団法人富山県薬業連合会、⁶富山大学)